

SMT PFC

エンビプロHDと連携

物件まるごと処分

三井住友トラスト・グループの三井住友トラスト・パナソニックファイナンス（SMT PFC）は11月12日、

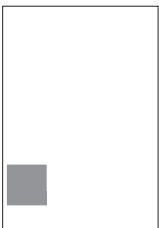
備まで、物件全体の処分に必要なソリューションを包括的に提供するスキームは全国的にも珍しい。

リサイクル・リユース事業を核とするエンビプロ・ホールディングス（HD、静岡県）と連携し、資産評価を伴う解体・設備処分のワンストップサービスの提供を開始した。工場などの建物から生産設

SMT PFC子会社の日本機械リースは、リース満了物件の処分を手がけるが、中古機械の買い取りが中心で、扱える物件や業種が限られていた。今回、廃棄物処理や建物・プラント解体のノウハウ

があるエンビプロHD傘下のエコネコル（静岡県）と連携することで、あらゆる業種に対応するほか、工場などの建物や付帯設備を含めた物件全体の解体・処分ができる。

事前に無償で簡易資産評価を行い、中古設備として価値がつかない設備もスクラップ資源価値で評価する。価値のある中古設備はそのまま引き取り、不要な材料や動産は資源として買い取ることで費用や環境負荷の無駄を抑制する。



工場撤退を一括対応

三井住友トラスト系リース

三井住友トラスト・ホールディングス（HD）傘下の日本機械リース販売（東京都江戸川区）が、エンビプロHD子会社のエコネコ（静岡県富士宮市）と業務提携した。工作機械など工場の生産設備を買い取る従来事業とエコネコのリサイクル事業を組み合わせ、工場の解体や資産評価まで一括で対応できる。中小製造業の廃業や事業転換での需要を見込む。

（戸村智幸）

日本機械リース販売 備だけでなく、工場の「と強みを挙げる。はリース期間が満了し 設備全般をスクラップ エコネコは汚染土壌たり、買い取ったりし 処理している。工場の 浄化も、提携先を通した工作機械を本社内の 解体まで手がける。 じて対応できる。施設と埼玉県深谷市の 両社は従来、個別案 解体に当たり、両社施設で修理し、別の顧 件では連携していた が工場の資産価値を無客に販売している。生 が、11月に業務提携し 償で簡易評価するサード設備には強いが、エ 文勝社長は「跡地利用 設備の買い取り価格や場全体まではカバーで を含め、ワンストップ スクラップ後の資産価値、設備全般のスクラ

リサイクル会社と連携



日本機械リース販売は中古工作機械を自社施設で修理して販売する

ップ後の資産価値など 安にするなどの需要をから見積もる。事業承 見込む。継を準備する企業が、 コロナ禍で企業の廃工場撤退で事業を整理 業が進む。東京商工リサーチ（TSR）による際の資産評価の目

ると、2020年の企 など幅広い分野に提案業の休廃業・解散は前 する考えた。年比14・7%増の4万 日本機械リース販売9698件で、00年の は三井住友トラスト・調査以来最多。製造業 パナソニックファイナは同10・5%増の55 ンス（東京都港区）子18件だった。会社で、親会社による廃業や事業転換に伴 リース・レンタル満了い、工場を解体する需 後のノートパソコンの要は今後高まるとみら 再生販売も手がける。れる。日本機械リース エコネコとの業務提携の室伏剛雄社長は 携は生産設備が対象だ「（両社の業務提携 が、ノートパソコンに「解決策の一つにな も広げれば、ワンストップでのサービス範囲 両社の業務提携の対 を広げられる。製造業象は製造業だけではな 以外の顧客にも提案し い。エコネコの顧客 やすい。こうした拡張基盤を生かし、飲食店 性も期待できる業務提携だ。や商業施設、オフィス 携だ。